

富田小 学校通信

6月

回覧

令和7年5月30日号
新富町立富田小学校

交通教室

入学した1年生も登下校で自宅と学校(学童)間の道を歩くようになりました。2年生以上の児童にとっては、通慣れた通学路です。また、下校後は徒歩だけではなく、自宅付近(低学年)や地区内(中学年)、校区内(高学年)で自転車に乗ることもあると思います。そのような状況も想定して、交通教室を実施しました。

国道や線路を横断して登下校している児童、1車線しかない狭い道を通して登下校している児童など置かれている環境は様々です。横断歩道だけではなく歩道橋を使ったり、踏切を渡ったり、信号機のない横断歩道を渡ったりして毎日安全に気を付けて歩いています。

学校では、毎年1回、安全に対する意識を高める機会として、交通教室を年度当初に実施しています。学んだことを思い出しながら常に安全に対する意識をもち、事故等に遭うことなく日常生活を送れるよう、意識的に声をかけていきたいと思います。

運動会①…結団式

4月30日(水)、Teamsで結団式がありました。

まず、運営委員会からスローガンの発表がありました。スローガンは、昨年度末の代表委員会で決めていました。今年のスローガンは…

心をもやせ あきらめずに 楽しい 運動会にしよう。

です。その後、運動会実行委員長のあいさつがありました。今年から新たに立ち上げた実行委員会。この委員会には、運動会を盛り上げるために自分

たちにできることを考え、実際に全校児童だけでなく、保護者まで巻き込みながら新たなスタイルの運動会で盛り上げようとアイデアを出し合い、その実現に向けて頑張っています。各団団長、副団長の挨拶の後、いよいよ団の色決定!!! 各団の団長が団の色のTシャツを着て登場すると、各クラスも大盛り上がりです。学校が一つになれる!!!そんな期待をした結団式でした。



運動会②…団長・副団長紹介

各団の団長、副団長は下記のとおりです。

団	団 長(敬称略)	副団長(敬称略)
黄 団	立元 一心	高須 愛琉
赤 団	亀元 絢翔	木村真那斗
白 団	曾我部佑太郎	樋口 蒼大
青 団	吉村 遥翔	宮部 夏光

★実行委員長:内永 和希 副委員長:宮本 将輝

6月の行事(現段階での予定です)

日	曜	行 事
6/ 3	火	清掃オリエンテーション
6/ 4	水	引き渡し訓練
6/ 5	木	歯科検診(5,6年)
6/ 6	金	全校集会
6/ 9	月	クラブ活動 ぶーぶーうー読み聞かせ(中)
6/12	木	歯科検診(3,4年)
6/13	金	1年生を迎える会
6/16	月	水泳開始
6/18	水	いじめ・悩みアンケート PTA 読み聞かせ
6/20	金	個人面談計画表配付
6/23	月	いのちの教育①(5年)
6/24	火	参観日・フリー相談
6/30	月	ぶーぶーうー読み聞かせ(高)

運動会③…全体練習

5月2日(金)、9日(金)に全体練習がありました。全体練習を仕切るのは、実行委員です。練習の始めと終わりに実行委員からの話があります。教師がではなく、「子どもたちが運営する」というところに大きな意味があります。特に今年は、前例がないだけに富田小の伝統を築く記念すべき年です。できるだけ教師の姿が見えない、子どもが主役の運動会をめざしました。

運動会④…子どもが主役の運動会

12名の実行委員を中心に準備を進めてきた運動会。団長・副団長も、各団のリーダーと力を合わせ、約180名の団員をまとめてきました。休み時間も返上して活動に勤しむ子どもたちは、正に一人一人が主役の運動会をめざしました。仲間のために、下級生のために…自分だけでなくみんなが…。そんな子どもたちの姿は尊く、人としての美しさを感じました。

実行委員のアイデアにも感心しました。団長・副団長・リーダーの応援にも感動しました。各役員の運営にも感謝しました。そして、それぞれの競技や演技で見せた一人一人の姿は、短期間集中型の練習で成長を感じるものでした。全ての子どもたちに、自律の力(自分で考えて動く力)が育ったと感じています。保護者の皆様からも最終的には1504もの「いいね!」をいただきました。子どもたちの考えで本当に面白く新しい企画で運営できた運動会になりました。ご家庭でもお子様を支え、励ましてくださったからこそ発揮できた力だと思っております。

最後に団長・副団長と実行委員長・副委員長の「今回の経験から学んだこと」をご紹介します。一周り大きく成長した気がします。この成長を今後の学校生活に生かしてまいります。保護者の皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

(敬称略)	今回の経験から学んだこと
立元 一心	声を出し指示を出さなければ人は動かないことが分かった
亀元 絢翔	一人じゃない。みんなの力で成し遂げられた。
曾我部佑太郎	協力や団結することの大切さや良さを改めて強く感じたこと
吉村 遥翔	あきらめずに最後まで戦うことや不安があっても挑戦すれば悔いはないこと
高須 愛琉	まとめるのは大変だが、これからも年下の子をまとめていきたい
木村真那斗	みんなと一つの目標に向かい努力することの大切さ
樋口 蒼大	人をまとめる難しさと協力することに喜びを知ったこと
宮部 夏光	人をまとめるのは難しいが、自分で考えて行動できるようになったこと
内永 和希	人の前に立つことはそれだけの責任が必要なこと
宮本 将輝	意見を出し合いみんなで決めて最後までやり遂げる大切さ